

PROFILE - 演奏者プロフィール -



[リコーダー] 井上 玲

大阪府生まれ。幼少より古楽に関心を抱き、8歳よりリコーダーを、11歳よりフラウト・トラヴェルソを始める。中学校在学中より受賞を重ね、東京大学文学部在学中の2019年、第32回国際古楽コンクール(山梨)にて第3位(第1位なし)を受賞。2021年にはドイツの第11回テレマン国際古楽コンクールにて第2位および聴衆賞を受賞。現在は東京藝術大学大学院に在籍すると同時に、活発な演奏活動を展開している。リコーダーを山岡重治、庄野龍夫の各氏に、またフラウト・トラヴェルソを前田りり子、庄野龍夫の各氏に師事。ケース・ブツケ、ペーテル・ファン・ヘイヘンの各氏をはじめとする内外の演奏家からの指導を受け、研鑽を積んでいる。



[オルガン] 加藤 真子

同志社女子大学学芸学部音楽学科パイプオルガン専攻で鴛淵紹子氏に師事し卒業後、ドイツのリューベック音楽大学にてマルティン・ハーゼルベック氏にパイプオルガンを、ハンス・ユルゲン・シュノール氏にチェンバロを師事しパイプオルガンのディプロマを取得。帰国後京都コンサートホールでオムロンパイプオルガンコンサートや東梅田教会パイプオルガンミニコンサートに出演。歴史的オルガンの奏法や讃美歌奏法について木田みな子氏に師事。現在は同志社大学専従オルガニスト、同志社女子大学オルガニスト、日本キリスト教団京都丸太町教会オルガニストを務めている。ユビラテ奏楽者の会会員。日本オルガニスト協会会員。



[ヴィオラ・ダ・ガンバ] 吉田 一美

同志社女子大学音楽学部音楽学専攻卒業。在学中よりガンバを始め、西村喜子氏に師事。インスブルックサマーアカデミーにおいてヴィラント・クイケン氏のマスタークラスを受講。上村かおり、平尾雅子、宇田川貞夫各氏に師事。現在はアンサンブルや通奏低音奏者として活動。同志社女子大学嘱託講師。



クラーク記念館

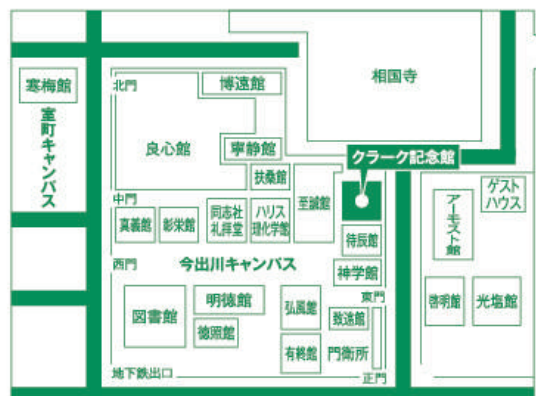
1893年竣工。ドイツのネオ・ゴシックを基調とする重厚な建物で、天を突く尖塔は、同志社のシンボリックな存在です。老朽化のため、2003年から2007年にかけて大規模修繕工事を行い、今の姿となりました。



パイプオルガン

スイスのマティス社の設計、製造、組み立てによるパイプオルガン。2011年に設置されました。重厚な伸びのある音、やわらかく包み込むような音、そして節度ある祝祭的な響きが特徴です。

キャンバスマップ



アクセスマップ



アクセス

- 地下鉄烏丸線「今出川駅」から徒歩1分
- キャンパス内に駐車場はございませんので、ご来場の際には、公共交通機関をご利用ください。